ごみコミえべつ　第87号　特別版

詳細　廃棄物対策課　☎383-4211

まちの「きれい」を守る、収集作業員の1日



「出せば、無くなる」ようにみえるごみ。でも、その先には毎日ごみを集めて運ぶ人たちがいます。

朝、ごみステーションに出されたごみは、収集作業員の手で一つ一つ回収され、処理施設へ運ばれます。適切に処理されたり、資源として生まれ変わったりします。

江別市のごみ収集は、江別リサイクル事業協同組合に加盟する7社が担っています。今回は江別ビル管理株式会社の協力のもと、可燃ごみ収集業務に密着しました。

毎日の暮らしを支える収集作業員の1日を追います。



事務所に戻って回収したごみの量などを報告書にまとめて業務を終了します。今日は収集車3台で17,560kgのごみを収集しました。（同社担当分）

収集作業員21人に聞いた！収集作業で大変なこと（複数回答可）

1位　カラスに荒らされたごみステーション（21人中16人）

散乱したごみは強風の日には広範囲に散らばり、片付けに時間がかかります。



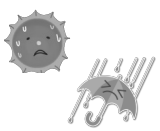
2位　冬場の大雪（21人中12人）

大雪で収集車が入れない時は、ごみ袋をロープで引っ張って収集します。



3位　夏場の猛暑や強い雨風（21人中10人）

屋外作業なので天気の影響を直接受け、いつも以上に体力を使います。





START


午前8時　朝礼・車両点検

当日の収集ルートの確認や体調チェックをします。その後、3人1組になって車両を点検し、出発します。

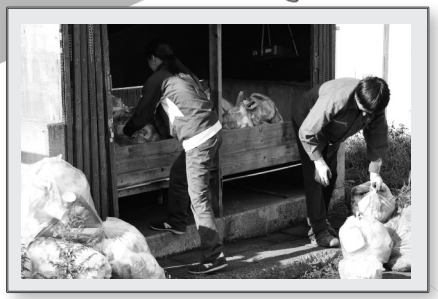

午前8時45分　収集開始

各ごみステーションを回りながら、ごみを積み込みます。今日は3台で692カ所を回ります。

市内全域では、約6,600カ所のごみステーションがあり、24台の収集車と70人の作業員が日々収集作業をしています。


多いときで、1日18,000歩！


カラスに荒らされたごみステーション



効率よく収集するために、走って収集車を先回りし、ごみステーションからごみを取り出しておくこともあります。

市役所

廃棄物対策課

カラス対策をしましょう

①ごみは収集日の朝8:45までに出す
②ごみステーションのふたは必ず閉める。カラスがネットを持ち上げられないようにする
③生ごみは水気を切り、見えないようにする

※ごみが荒らされてしまった場合は、片付けをお願いします


午前11時45分　クリーンセンターへ搬入

午後1時　再び収集へ

1つ目のエリアの収集を終えたら、環境クリーンセンターにごみを搬入します。搬入後は再び収集に向かいます。1日に2・3エリアを回ります。

皆さんからの「ご苦労様」「ありがとう」といったねぎらいの言葉、正しい分別や時間を守ったごみ出しなど､日々のご協力が励みになります。



ごみは必ずごみステーションに出しましょう

収集車に直接ごみを投げ入れる行為や、ごみステーション以外で手渡そうと道端で待つ行為は、危険が伴うので止めてください。

ごみ袋の口は、しっかり縛りましょう

可燃ごみは量が多く、不燃ごみの約8倍あります。ごみがこぼれないように、袋の口をしっかり縛ることで、収集しやすくなります。

ごみの出し方のお願いです



ごみは去年から減った？

令和７年度　ごみ排出量と処理費用



家庭系ごみ排出量
※集団資源回収量を除く

20,028t/年

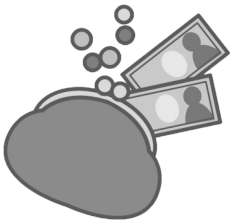
前年度比 **1,307ｔ減**



一人当たりのごみ排出量

468g/1日当たり

前年度比 **29g減**



ごみ処理費用

21億6,324万円/年

前年度比 **2,732万円減**

ごみの排出量

令和７年度の家庭系ごみの排出量は、２万３９１９トンでした。

家庭系ごみの排出量から自治会などで行っている集団資源回収量を除いたごみの量は２万２８トンで、前年度より１３０７トン減少しています。

ごみの排出量減少の要因は、物価高による消費の落ち込みや、市民のごみ減量意識の高まりなどが考えられ、１人１日当たりの排出量は、前年度より２９グラム減少しています。

ごみ処理費

令和７年度のごみ処理にかかった経費は、21億６３２４万円で、前年度より２７３２万円減少しました。

ごみ処理手数料

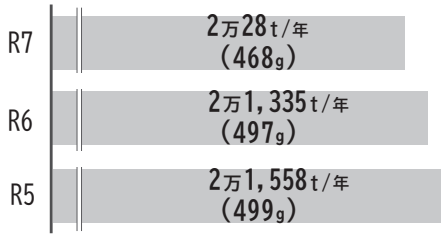
指定ごみ袋・ごみ処理券の販売やクリーンセンター直接搬入手数料などのごみ処理手数料収入は、家庭系では３億９８８３万７千円、事業系では１億９６２３万６千円でした。

令和７年度の手数料は、ごみ処理経費の約27％を占めており、貴重な財源となっています。

これからも、より一層のごみの減量と資源化にご協力をお願いします。

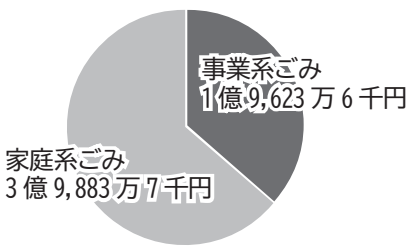


家庭系ごみ排出量の推移

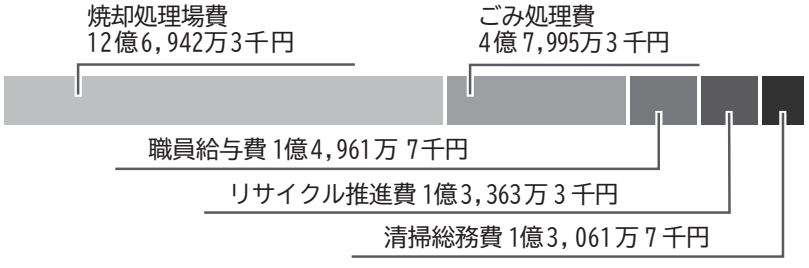


(　)内は１人１日当たりの家庭系ごみ排出量

ごみ処理手数料の内訳



ごみ処理経費の内訳



注意！ 冬季のごみ出し

●ごみ出しは収集日の朝に

収集日の前夜にごみを出すと、除雪作業の妨げになります。収集日の朝8時45分までに決められたごみステーションに出してください。

※天候や道路状況、ごみの量により、収集時間が変動する場合があります

●悪天候時は次回の収集日に

吹雪や大雪のときは収集車両がごみステーションまで近づけず、収集できないことがあります。ごみ出しについても危険が伴うため、次回のごみの区分に応じた収集日に再度出してください。

●利用者の皆さんで協力を

適切にごみステーションが管理されていないと、収集が困難となります。ごみステーションを利用している皆さんで協力して、除雪など適切な管理をお願いします。

▼詳しくは、下の二次元コードからご確認ください

ごみ出しが困難な方の戸別収集を行っています

ごみステーションまでごみを運ぶことが難しい方を対象に戸別収集を行う「江別市ごみサポート収集事業」を実施しています。

【対象者】

条件1と2に当てはまる方

《条件1》ごみステーションへの排出が困難であり、親族や近隣の方などのボランティアによる支援を受けることも困難な状態の方

《条件2》①～③のいずれかの要件に該当する方で構成される世帯

①要介護1以上の認定を受けている方
②身体障害者手帳1級または2級の交付を受けている方
③療育手帳Aまたは精神障害者保健福祉手帳1級の交付を受けている方

※該当しない場合でも、お困りの方はご相談ください

【申請】

ごみの排出状況などを確認し、必要書類を説明します。廃棄物対策課指導係（☎383－4217）にご連絡ください



危険ごみの出し方にご協力ください

ガスカセット缶・スプレー缶などは、できるだけ使い切り、穴を空けずに透明・半透明の袋に入れて「危険ごみ」の収集日に出しましょう。

他のごみと混ぜると、収集車や処理施設での火災の原因となりますので、絶対にやめてください。



宴会料理を食べ切ろう

宴会料理の食べ残しは多く、7皿のうち1皿（14.2%）が手を付けられずに捨てられています。次のことに気を付けて、なるべく料理を食べ切りましょう。

・食べ切れる量を注文する
・乾杯後30分間、お開き前10分間は自席で料理を楽しむ（30(さんまる)・10(いちまる)運動）
・食べ切れない料理は別のテーブルに持っていく
・残った料理は店員に確認してから持ち帰る



マイバッグ、マイボトルを持参しよう

市内のスーパーでのマイバッグ使用率（レジ袋を使用しなかった人の割合）は現在約88%で、皆さんの心がけがごみの減量につながっています。

飲み物をマイボトルに入れることも、使い捨て容器の削減になります。

これからも、日常の小さなことからごみの減量に取り組んでみませんか。

